

第3回自然体験活動指導者養成研修会

日時;平成20年10月18日(土)

9時30分～16時30分

場所;荒神山少年自然の家

第3回は、講師を同志社大学 西村仁志准教授にお願いし、「プログラムの企画立案」についてご指導いただきました。



午前中は、主に以下の点についてご指導いただきました。

- ・一週間位の長期活動が望ましく、徐々にハードルをあげていくことで、仲間づくり、成長がより期待できる。
- ・キャンプを企画していく場合を演劇に置き換えると、興行主、脚本家、演出家、役者(主演、助演。脇役、端役)、道具、美術、衣装、営業、宣伝の役割が必要である。
- ・企画は、企画者の思いが出发点で、①「いま、ここ」の確認をする②問題意識を持って関わる③現場に身を置いて考える④「五感」と「直感」のアンテナをしっかりと張る、ことが大切である。



午後は

- ・企画の6W1H
Why,What,Who,Whom,When,Where,How,(How Much)
- ・体験学習の循環学習プログラムについて、研修した後、午前中の研修を活かしながら、「現場に身を置いて」プログラムを考える演習を行いました。
その後、それぞれが企画立案したプログラムをお互いに評価し合いました。

